

東日本大震災に係る支援活動について

平成23年8月19日現在

1. 医療支援

- 災害派遣医療チーム（DMAT）の活動として、ドクターカー及びワゴン車とともに医師、看護師及び事務職員を派遣（3月11日～14日、3月16日～19日、3月20日～2日）
- 医薬品を被災地へ提供
- 死体検案のため、福島県相馬市・南相馬市及び宮城県石巻市等へ医師を派遣（3月16日～22日、3月29日～4月5日、4月20日～27日）
- 下肢深部静脈血栓症の治療・予防のため、福島県内避難所へ医師を派遣（3月14日～15日、3月17～18日）
- 高齢者医療支援に関する情報収集・診療のため、福島県福島市及び相馬市へ医師及び薬剤師を派遣（3月26日）
- 被災地からの避難住民に対する医療支援のため、新潟県見附市へ医師を派遣（4月1日、8日～9日、22日～23日、26日、30日、5月13日～14日、27日～28日、6月10日～11日、24日～29日、7月8日～9日、22日～23日）
- 緊急被ばく医療に対する災害医療アドバイザーとして、原子力災害現地対策本部へ医師を派遣（4月11日～13日）
- 日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト現地派遣支援として、宮城県涌谷町、石巻市へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣（4月14日～17日）
- 東北大学心のケアチームとして、医師及び精神保健福祉士を宮城県石巻市へ派遣（4月27日～30日）
- 福島県立医科大学心のケアチームとして、医師を福島県相馬市へ派遣（4月30日～5月3日）
- 国立大学医学部附属病院長会議による医療支援の一環で、関東ブロックチームの一員として、東京大学、千葉大とともに、チーム（内科系医師2名、看護師1名、薬剤師1名、事務職員1名）を編成のうえ派遣し、志津川ベイサイドアリーナ（南三陸町）を拠点に継続的な医療活動（5月7日～11日、5月18日～21日、5月28日～6月1日）
- 厚生労働省医政局の要請により、災害派遣医療チーム(DMAT)を、いわき市立総合磐城共立病院を拠点に、J ビレッジ、広野町公民館、田村市古道体育館に派遣し、一時帰宅者に対する医療支援に従事した(5月25日～31日で常時医師4名、事務1名を配置した)
- 歯科治療及び口腔ケアのため、歯科医師及び歯科衛生士を宮城県へ派遣（5月29日～6月6日、6月19日～6月27日）
- 被災地から、重症患者を受入れ（3月18日に、福島県郡山市太田西ノ内病院、宮城県亶理郡国立病院機構宮城病院、福島県いわき市いわき共立病院から、また、福島県いわき市から都内に避難中の患者を、それぞれ受入れ。福島県いわき市内の透析患者を、3月18日及び19日から受入れ。）

2. 救援物資等

(1) 救援物資支援

- 簡易マスクや電池等の消耗品11点を東北大学に提供（3月18日及び19日）

(2) 義援金

- 学内で募金活動を行い、集まった12,161,633円を、日本赤十字社に寄附（5月11日）

3. その他

- 宮城県公立学校等の応急危険度判定のため、宮城県へ職員（被災文教施設応急危険度判定士）

を派遣（４月１８日～２２日）

- 原子力災害対策特別措置法に基づく福島県警戒区域への住民の一時帰宅に伴うスクリーニングへの協力のため、福島県へ教員（放射線取扱主任者）及び技術専門職員を派遣（６月３日～６日、６月５日～６日、６月２７日～２９日、７月１４日～１７日、８月１日～８日）
- 福島第一原子力発電所事故に伴い放出された放射線物質の分布状況等に関する緊急調査研究のため、福島県へ教員（放射線取扱主任者）及び技術専門職員を派遣（６月１２～１３日、６月１３日～１４日）